

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 582

事業名	共同ごみ箱購入補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	衛生費・4款
電話	0799 - 43 - 5024			項	清掃費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	ごみ処理費・2目
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市ごみ箱設置補助金交付要綱	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_		
	まちづくりの目標		子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]		
	施策目標		ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる		
該当する事業について「 」を選択			施策的事業	業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 可燃ごみの戸別収集から集積所を統合するため、3件以上の受益者があり共同ごみ箱を設置する自治会に対する補助事業。		対象人数(人)	53,374
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 軒先に市の指定袋を出す場合、地区により収集作業まで相当の時間を要することもあり、小動物等による排出物の散乱など地域的美観・衛生に及ぼす影響も大きく、共同ごみ箱を設置することにより状況改善を図る。			
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 設備の設置費用に対し、2分の1(上限、30,000円)の補助金交付。			
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 廃棄物収集時の衛生面確保。			
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()			
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧西淡町は全域にステーション方式を導入済みであり、本事業はその他3町について旧南淡町の補助要綱を継承。				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	交付実績				指標単位
						円
	指標説明 (指標算出方法等)	予算額に対する交付額実績比。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	600,000	700,000	600,000	600,000	
	実績値	354,000	610,000	686,700		
	達成度 (%)	59.0	87.1	114.5	-	
目標値設定の考え方	当該年度予算額					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	交付申請				指標単位
						円
	指標説明 (指標算出方法等)	補助金交付申請額				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	354,000	610,000	600,000	600,000	
	実績値	354,000	610,000	686,700		
	達成度 (%)	100.0	100.0	114.5	-	
目標値設定の考え方	補助金交付申請に対する交付実績額。					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	354	610	600	600	
	補助金	354	610	600	600	
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	354	610	600	600	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	123	120	120	120	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)	4	4	4	4	
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	
	年間経費([A]+[B])	477	730	720	720	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.0	0.0	0.0	0.0		
受益者人数(20)1人当り経費(千円)	23.8	36.5	36.0	36.0		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	59.0	87.1	114.5	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 毎年、20か所の設置を目標に事業実施。					自己評価 (5点評価)
						3
有効性	成果指標目標達成度	%	100.0	100.0	114.5	-
	成果向上率	%	-	72.3	12.6	-
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 申請自治会に補助金交付。					自己評価 (5点評価)
						5
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	0.0	0.0	0.0	-
	効率性増減率	%	-	11.2	12.3	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 補助金交付事務のみ。					自己評価 (5点評価)
						4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地域の衛生面の向上に有効な施策と考える。					自己評価 (5点評価)
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 設置用地の確保、隣接住民の理解等、設置費以外の課題も地元にもあり、長期的な対応が求められると考える。					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>公共性が高く、ステーション方式よりも経費的な効率性がよく、費用も市と地元の折半であるので現状維持により経過を見守ることとする。 ただし、交付実績に応じた予算措置を行う。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	交付実績に応じた予算措置を行う。	同左
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面 適正な予算措置。	効果(アウトカム)面 同左
	コスト面 予算削減。	コスト面 同左
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 地元負担が大きくなり、設置に関しての意欲低下が懸念される。	